

令和5年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立立川第七中学校

2. 令和5年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色(農業や職場等)を理解するとともに、地域に対する誇りを感じさせることができた。 ・物事を多角的に捉え、批評する力を育成することができた。 ・調べ学習等を通して、情報収集力が高まった。
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の減少や高齢化、クラス数の増加による事業所の確保が難しい。 ・「立川市民科」の実施状況を各家庭へ PR 活動を行うことが不足していた。 ・教員間で情報共有を密にし、各教科との横断的な学習の確立。(つながりの確保)

3. 令和5年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
18.3%	43.1%	17.2%	3.4%	18.0%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
14.3%	44.6%	5.6%	0.4%	35.1%